



アユは30cm前後にまで成長するが、その一生は一年で終わる年魚。全長：約20cmのオス。

アユ科 アユ属

【全長】30cm

アユ

学名：*Plecoglossus altivelis altivelis*

分布域

北海道北部を除く、日本各地。

生息域

春に河川に遡上し、河川では中流域に生息する。



稚魚は群れで河川に遡上する。

馴染みの深い川魚の代表種。背面は青味を帯びたオリーブ色で、腹面は銀白色。オスは成熟すると胸鰭の後方に黄色い斑が現れ、背鰭が黒く大きくなる。産卵期は秋。孵化した稚魚は直ちに海まで下り、翌春まで海で育つ。春に7～10cmに成長し河川に遡上する。河川では主に石や岩盤に付着する藻類を食べる。遡上時は大きな群を成し、河川に定住する頃になると大型個体は縄張りを持つようになる。秋に下流域まで下り産卵し、その一生を終える年魚。

水槽での飼育は幼魚期から始めると比較的飼育できるが、大きくならず、15cm以上に大きくするのは難しい。幼魚は配合飼料を食べる。

在来種

回遊魚

※ 重要な水産資源だが、各地で琵琶湖産のアユ(コアユ)を放流し、様々な移入種の問題が起こった。琵琶湖産のコアユはプランクトン食で小さく成熟する。アユとは区別される。